

# すわみつえ通信

No.373 2025年9月8日

日本共産党鴻巣市議会議員  
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL : 596-9440 FAX : 507-4151  
携帯 : 080-5039-2785  
E-mail : mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届け  
たい声がある 声をかたちに

9月議会が始まりました

▶ 9月5日(金) 本会議 行政報告より ◀  
「市民の日(10月1日)」記念事業における主なもの

☆10月1日(水) コウノトリ野生復帰センター  
「天空の里」入館料無料。  
オリジナル缶バッジの  
手作り体験やVR体験を  
予定しています。



☆10月18日(土)・19日(日)  
コミュニティバス「フラワー号」  
運賃無料 [終日無料]



☆小中学校給食市民の日特別メニュー

【小学校】10月7日(火)6校 10月8日(水)10校  
鴻巣ひなちゃんパン 豚肉と鴻巣

梨のきらめきソース コスモス  
サラダ 彩り野菜スープ 牛乳



【中学校】10月3日(金)

ごはん 若獅子カレー  
ホットポテト 鴻巣ブルーベリーケーキ 牛乳

すわみつえ市議一般質問 9月29日(月)午前9時 以下の項目で行います

ぜひ議会傍聴においていただけますようお願いいたします。

## 教育行政

(1)「鴻巣市立小・中学校の適正規模及び適正配置」における学校統廃合について

- ア 川里地域の義務教育学校は具体的にどのような学校を作ろうとしているのか  
イ 2024年に川里地域で行った意見交換会以後、地域住民及び教職員からの意見聴取はどのように行ったか  
ウ 統廃合となる小中学校の児童生徒に対して「鴻巣市こどもの権利条例」に基づいた意見聴取は、いつ、どのように行うのか  
(2)不登校児童生徒の実態と対策について

## 健康福祉行政

(1)鴻巣市高齢者福祉センターひまわり荘運営について

- ア 年間利用実績と設備故障による利用休止の日数は  
イ 利用者への利用休止の案内方法及び利用休止中の代替利用について  
ウ 設備故障の抜本的改善策は

## 都市建設行政

(1)埼玉県事業の川面調節池整備に伴う本市の取組について

<参考>川面調節池の土地面積は、37ヘクタール

生活保護基準引下げ「違法」の最高裁の判決を踏まえ、速やかな対応を求める意見書

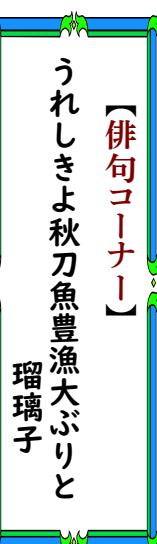
「いのちのとりで裁判」と言われ、29都道府県で闘われてきた31の裁判をめぐり、最高裁判所は2025年6月27日、生活保護費の減額は違法という初の統一判断を示しました。

日本共産党市議団は「国は最高裁判所の判決を真摯に受け止め、被害者への謝罪と被害回復及び再発防止にむけて具体的な対応を行うよう」求める「意見書」を提出します。

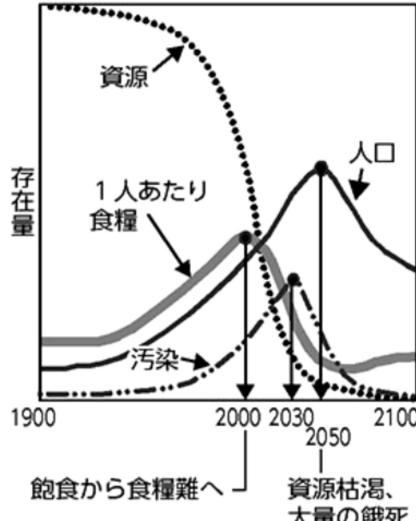
鴻巣市議会として国に提出できるよう頑張ります。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口



## メドウズ博士の環境予測



『成長の限界 ローマ・クラブ「人類の危機」レポート』(1972年)から作成

## 省資源高耐久を

昨今、気候異変は深刻化しています。原因として指摘されるのが温暖化です。温暖化をもたらすのは二酸化炭素・フロンガスの急増ですが、急激な工業化が進む戦前までは、熱帯雨林の樹木が二酸化炭素を吸収し、バランスがとれていました。

身近にまだ異変のなかった50年ほど前、国連は深刻な環境異変回避に向けて世界が立ち上がりよう呼びかけました。それに応えメドウズ博士が1972年に環境予測をたてました。食糧難が2020年頃から深刻化し、地球上の資源は50年頃に枯渇し、大量の餓死に見舞われ、人口は激減するという内容です。

それから50年以上が経過し、残念ながら予測通りに進行しています。洪水・台風・干ばつ被害が深刻化するだけでなく、食料不足も招きました。世界的な工業化と経済の進展は資源の枯渇と環境異変を生み出していました。戦後の急激な経済成長の根幹をなしてきたのが「大量生産、大量消費、使い捨て」でした。生活も豊かになりましたが、このやり方を続けたら資源枯渇・餓死を招きかねません。ここにメスを入れないと根本的な解決にはならないのです。

それは省エネでなく省資源です。たとえば省エネエアコンは、運転エネルギーは減りますが、価格に相当する資源を使って生み出されますから、高耐久でない限り省資源にはなっていないのです。

再開発は築20~30年の既存建物を壊し、何千億円もの資源を使って造られるケースが多いです。東京オリンピック競技場はその前の施設を60年で壊し、1500億円を費やして建てました。ここまで資源を使うなら法隆寺のように千年を超えて使い続けないと資源枯渇は止められません。

便利な工業製品は多くの資源を使い、環境に負荷をあたえかねません。地場の材料を活かしてきた少し前までの住まいとは、そこが大きく違っています。工場や機械もいらず、廃棄するにも加工なしで大地に戻せましたから、資源消費は極めて少なかったのです。

先人は自然と正面から向き合うなかで何を見いだしてきたのか、改めて考えてみましょう。

(「無垢里(むくり) 1級建築士事務所主宰 しんぶん赤旗 9月2日付)

**生活苦は外国人のせいではなく、自民党の政治が原因です。**

しんぶん赤旗 9月号外

## 私たちなぜ 外国人差別と たたかうのか

根拠もあいまいに、いたずらに不安をあおり“外国人が優遇されている”と主張し、差別や分断をもちこむ排外主義に対し、私たちはきびしく対決します。

**日本共産党**

### 相手の心を 深く傷つける

人権を侵害する  
許されない  
行為

生まれた国や肌の色など、本人にはどうしようもないことによる差別は、言葉の刃で、相手の心をえぐり、人としての尊厳を傷つけ、ときとして死においやる行為です。絶対にやめましょう。

### 人々を分断し 対立あおる

安心して  
くらせる社会を  
こねす

すでに日本にはたくさんの外国人がくらし、地域や社会の支え手となっています。マナーや習慣のちがいは、一つひとつ具体的な解決が必要で、外国人を一括りにした差別は、なにひとつ問題を解決しません。

### 他国を見下し 侵略戦争へ

かつて国を  
滅ぼした道

「日本は優秀な民族で、朝鮮や中国は下等民族、アメリカ人やイギリス人は鬼畜生」——他国を植民地支配し、無謀な戦争に突き進み、敗北して80年。二度とくりかえしてはなりません。